

# 施策評価シート

## 1 総合計画上の位置づけ

担当課： 管財課

|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 施策名        | 48 公有財産マネジメント                     |
| 政策名        | 持続可能な行財政運営を行う                     |
| 施策がめざす将来の姿 | ・施設の複合化・多機能化や、公有財産の売却や貸付けが進んでいます。 |

## 2 施策評価指標

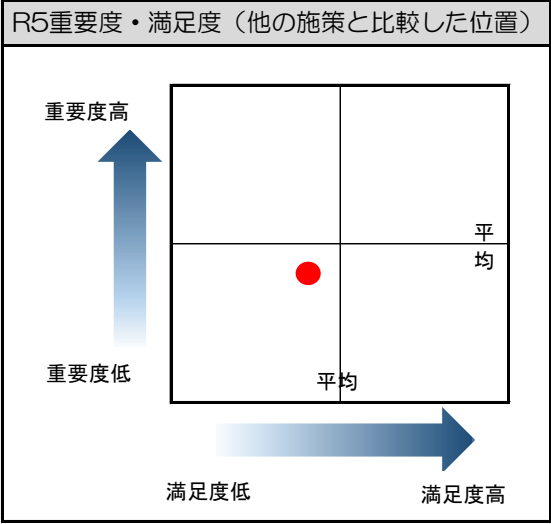
| 成果指標名          | 単位             | 後期当初値  | 令和9年度目標 |       |       |
|----------------|----------------|--------|---------|-------|-------|
| 削減した公共施設の延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 24,114 | 82,500  |       |       |
|                | 令和5年度          | 令和6年度  | 令和7年度   | 令和8年度 | 令和9年度 |
|                | 27,518         |        |         |       |       |

## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

| 重要度／単位（％） |
|-----------|
| 令和5年度     |
| 98.4      |

| 満足度（満足している市民の割合）／単位（％） |   |       |
|------------------------|---|-------|
| 令和4年度                  |   | 令和5年度 |
| 89.5                   | ➡ | 89.1  |

※増減（➡）の基準は3ポイント以上とする



## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

公共施設再配置計画に基づいて、公共施設の統合、廃止及び譲渡など適切な維持管理に努めていますが、各施設ごとに様々な課題を抱えており、計画どおりに進んでいない施設があります。また、市の保有する公有財産のうち用途を終了した普通財産や供用されていない行政財産が多くあり、その整理が進んでいない状況にあることから、GISを活用した公有財産管理システムの導入を令和6年度に行います。

今後は、社会情勢や現状の課題整理に対応するため、公有財産管理システムの利用による公有財産の合理的な活用や処分の推進を図るとともに公共施設再配置計画の見直しを行いながら、公共施設の維持管理経費の圧縮と質の向上を図り、将来にわたり持続可能な公共施設サービス提供の実現に向けて、施設の適切な維持管理を進めていきます。